

2024年4月22日

各位

株式会社 栗本鐵工所

大阪市水道局から「大阪市水道基幹管路耐震化 PFI 事業」を受注  
～水道基幹管路の更新に、PFI 方式を全国初導入～について

株式会社栗本鐵工所(代表取締役社長:菊本一高、以下「当社」)を含む企業グループが設立した特別目的会社(SPC)「ウォーターパートナー大阪管路株式会社」(以下、「当SPC」)は、このたび、大阪市水道局との間でPFI方式による「大阪市水道基幹管路耐震化PFI事業」(以下「本案件」)に関する事業契約を締結し、事業を開始しましたのでお知らせします。

## 記

## 1. 本案件の概要

事業名	大阪市水道基幹管路耐震化 PFI 事業
事業内容	基幹管路約 38km(予定)の更新に係る計画業務、運營業務、設計業務、施工業務、施工監理業務 対象予定路線: 配水本管 φ 400～1067mm × 20 km 配水本管 φ 400～1000mm × 6 km 送水管 φ 1200～1500mm × 12 km
事業期間	2024年4月1日～2032年3月31日(予定)
事業方式	PFI 方式
契約締結日	2024年3月28日
契約金額	約 525.5 億円(税込)
事業者	ウォーターパートナー大阪管路株式会社 【構成企業】 株式会社大林組(代表企業)、株式会社クボタ、東急建設株式会社、株式会社栗本鐵工所、株式会社オクムラ道路、株式会社日水コン、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 【協力企業】 株式会社ニュージェック

## 2. 本案件の背景と特徴

・大阪市水道局では、「大阪市水道経営戦略(2018-2027)」に基づき、切迫性が指摘され、その対策が急務となっている南海トラフ巨大地震や、大阪市が想定最大規模の地震とする上町断層帯

地震の発生時においても、当面必要となる水道水を供給可能にする対策を推進しています。

- ・本案件は、市内の浄・配水施設を繋ぐ基幹管路の更新を PFI 事業として実施することで、民間事業者の技術力と創意工夫の発揮により、コストを抑制しつつも要求される品質を確保し、水道基幹管路更新のペースアップを図るものです。
- ・当 SPC の合理的かつ効率的な実施体制や業界トップ企業の品質管理手法、PFI 事業による効率化を追求した技術提案が評価され、選定に至りました。

### 3. 本案件における当社の役割

- ・当社は、水道基幹管路更新の設計・施工業務を担います。
- ・老朽化した水道基幹管路の更新事業における PFI 方式の導入は全国初となります。
- ・当社は、これまで培ってきた管路整備の技術力やノウハウを最大限に活用し、本事業を通じて、地域の生活環境向上および地域経済活性化に寄与してまいります。

### 4. 今後の展開

当社は、人々の生活を支える上下水道という社会インフラの維持更新に向け、ダクタイル鉄管の管材メーカーとして材料の安定供給に加えて、これまでに培ったノウハウを活用し、今後も調査、設計、施工および施工管理といった幅広いソリューションを提供してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ

株式会社栗本鐵工所 パイプシステム事業部 PPP 統括本部

電話 06-6538-7615